



第1回認サポ、「イイね👍」で終了!

ゴールデンウィークの初日となる4月27日、「コラルトの認知症サポーター養成講座（認サポ）」の記念すべき第1回目が、新宿二丁目のコミュニティセンター「akta」にて開催されました。

今回は8名のご参加を頂き、和やかな雰囲気の中、認知症の基本的な知識を学び、その後のワークショップでは「認知症世界の歩き方」特製のカードを使いながら、実際の認知症当事者がどのような困難を抱えているのか？ということをお互いに話し合いました。

参加されたみなさんからは・・・

- ・認知症の人にやさしく寄り添うことが必要
- ・町中で見かけたら声をかけようと思った
- ・少しだけ親に優しくしてみようと思った
- ・具体的な経験談が聞いたのがよかった
- ・参加者同士のセッションの場がよかった



など、多くの貴重なご意見を頂きました。まだまだ改善点は多くありますが、今後さらにブラッシュアップしていきますので、どうぞよろしくお祈りします。



次回開催は2024年5月25日（土）18:00～19:30です! ★参加無料★

※お申込は右下のコラルト公式LINEのQRコードから、お気軽にどうぞ!公式WEBからもお申し込み可能です。

地域包括支援センターを活用しよう!

第1回講座では時間配分のミスにより、具体的なお話ができなかったのですが（申し訳ありません!）、講座の最後にご紹介したいと思っていたのがこの「地域包括支援センター」です。

地域包括支援センターとは、介護・医療・保健・福祉などの側面から高齢者を支える、その地域の「総合相談窓口」です。

専門知識を持った職員が、高齢者が住み慣れた地域で生活できるように介護サービスや介護予防サービス、保健福祉サービス、日常生活支援などの相談に応じており、介護保険の申請窓口も担っています。

人口2～3万人の日常生活圏域（一般的に中学校区域）を1つの地域包括支援センターが担当しています。令和3年4月末時点で、全国に5,351施設あります。

地域包括支援センター 4つの業務

介護予防ケアマネジメント

要介護にならないように介護予防支援を行う



総合相談

必要なサービスや制度を紹介



権利擁護

成年後見制度活用をサポートや虐待防止への取り組み



包括的・継続的ケアマネジメント

地域ケア会議の開催やケアマネ支援など



地域包括支援センターでは、担当地域に住んでいる高齢者自身からの相談はもちろん、その高齢者について気になることがあれば、**ご家族や友人、近所の方からの相談**も受け付けています。

家族間だけだと、どうしても煮詰まってしまう、閉塞感が否めない認知症のサポートには、自助+互助+共助+公助のそれぞれの要素が必要です。

積極的に活用しましょう!

地域での助け合いは、関係者のQOL向上のために不可欠な互助活動です。

私達がナビゲートします!

こんにちは! チーム・コラルトです。

私達の認サポは、母の認知症介護を通じて学習した「たいこん」と、社会福祉士で現場経験豊富な「ほだか」が担当しています。



今後とも、よりお役に立つ情報発信をしていきたいと思っていますので、ご意見、ご感想などお気軽にお聞かせください。

第1回目の認サポ、おかげさまで無事に終了いたしました。期せずして、教材を作った方にも参加いただき、大変充実したものとなりました。

従来の準備号ではコンセプト的なお話が中心でしたが（宗教チック? というご意見も? 苦笑）、今回からは、最新のニュースやより具体的なお話をご紹介していきたいと思っておりますので、引き続き、どうぞよろしくお祈りいたします。

(たいこん)

コラルトWEB



公式LINE

